

2021年8月26日 始業式

「そこで、わたしはあなたがたに最高の道を教えます。たとえ、人々の異言、天使たちの異言を語ろうとも、愛がなければ、わたしは騒がしいどら、やかましいシンバル。愛は忍耐強い。愛は情け深い。ねたまない。愛は自慢せず、高ぶらない。礼を失せず、自分の利益を求めず、いらだたず、恨みを抱かない。不義を喜ばず、真実を喜ぶ。すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐える。それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大いなるものは、愛である。」
～ コリントの信徒への手紙 13章 ～

皆さん、おはようございます。

夏休みはいかがでしたか。今日は楽しみにしていた友達にも会えずこのようなオンラインでの始業式となりましたが、今日で夏休みは終わりましたし、学校が始まりました。夏休みの宿題はきちんと終わらせましたか？期末考査の勉強も計画的に取り組みましたか？高3の皆さんは進路のことで不安なところもあるかと思いますが、皆さんの進路実現のために先生たちはしっかりサポートしていきますので、希望を失わずしっかりと目標を持って前進してください。

皆さんもよく知っている通りに新型コロナウイルスの中でも感染力の強い変異株は、私たちの生活を脅かしています。しかし、感染力の強いデルタ株でも、マスクの着用、距離の確保、手指消毒等の感染防止対策を徹底すれば基本的には感染しませんので、私たちができることとしては、今まで以上に感染防止対策を強化していくことです。今の忍耐強い取り組みが一日も早いコロナ終息に繋がることを願います。明日からオンライン授業になります。「人との接触機会」を減らさざるを得ない関係で、「オンライン」は私たちの生活で欠かせないシステムになりました。学校や会社、医療現場でも「オンライン授業」や「オンライン会議」「オンライン診療」が実践されています。「インターネット」を通じて、離れた場所にいる誰かとリアルタイムで「対面」できる技術は、「新型コロナ」に妨げられることなく人々を、そして世界を「ひとつに結ぶ」重要な手段を人類に提供してくれています。しかしこの恩恵を世界の全ての人を受けているわけではありません。このような形で学び続けられることに感謝し、期末テストに向けて学習に励んでください。

もうひとつ、「新型コロナ」に妨げられることなく「人類をひとつに結ぶ」手段となるものがあるように思います。それは「祈り」です。「祈り」は本来「神と人」とを「結ぶ」ものですが、「人と人」とを結ぶものでもあります。それは「他者のための愛」であり、「助け合い」「思いやりの精神」です。

アンジェラスの鐘は聞こえませんが、今週はそれぞれの場で9時になったらみんな心を合わせて、アフガニスタンの平和とパラリンピックが無事に終わりますように願って一緒に祈りましょう。そして、各自時間をつくって、新型コロナウイルスの終息と世界の平和のために主の祈り1回、アベマリア1回を毎日祈りましょう。この祈りを通して私たちの心を一つにしていきたいと思います。

最後に、皆さん、今年度の全校の目標は覚えていますか。「稲穂のような謙虚さを身につけよう」です。サブテーマは何でしょうか。創立者カルメン・サジェスのことば「Haz lo que haces, hazlo bien y hazlo por Dios」（今していることにベストを尽くしなさい。神様のために）です。

謙虚さの基本的な姿勢は「他者を思う心」と「感謝する心」だと思います。自分のことばかり考えずに周りのことを考えて思いやり、広い視野を持って地域(ちいき)の事、世界の事、その中でも最も貧しい人々や弱い立場にいる人々の事を忘れず祈りながら生活することではないでしょうか。そして、今置かれている環境に感謝して生活することによって私たちの謙虚さを成長させることができます。また、創立者聖カルメンサジェスの言葉のように、神さまは私たちの事をよくご存じですので、成功や失敗を恐れず、すべてのことを良いものにしてくださる神さまを信じて、神さまのために他者のために「今していることをベストを尽くして」やっていきましょう。きっと神さまはもっと大きな喜びで報いてくださるでしょう。後期もがんばりましょう。

